

## 2) 植 物

### ア. 重要な種及び群落の状況

愛知県の「平成 24 年版 環境白書」によると、愛知県の植生は潜在的にはほとんどが照葉林帯に属しているが、平野部では土地利用が進み、自然植生は社寺林等一部にしか残っていない。一方、丘陵から山地部の多くの部分はスギ及びヒノキの人工林が多く見られるが、丘陵部を中心にコナラ、アベマキ等を主体とする二次的植生の森林地域も広くみられ、里山を形成している。

「レッドデータブックあいち 2009」によると、愛知県は中部山岳地帯の南端に位置し、木曾山脈の中心部まで山続きとなっているほか、天竜川をはさんで赤石山脈南部とも接しているため、温帯性植物や東日本系の植物が見られる。一方、渥美半島は温暖な地であり、豊川の谷も冬季の季節風が入らないため温暖で、暖地性の植物が生育している。また、本州脊梁山脈の切れ目に当たる関ヶ原にも近いいため、日本海系の植物もいくつか生育している。地質的には、濃尾平野の木曾三川下流部の三角州地帯では低湿地性の植物が、三河湾の塩湿地では塩湿地性の植物が見られるほか、東三河のチャートや流紋岩、石灰岩の岩山、蛇紋岩地の非森林性の植物が多く見られる。そのため、愛知県に生育する維管束植物は約 2,220 種と日本に本来自生する維管束植物（約 7,000 種）の約 3 割が自生している。このうち、準絶滅危惧種以上のカテゴリーに含まれる種は、絶滅はミズスギナ等の 42 種、絶滅危惧 IA 類はハナノキ等の 58 種、絶滅危惧 IB 類はトキシソウ等の 163 種、絶滅危惧 II 類はミクリ等の 200 種、準絶滅危惧はエビネ等 124 種の計 587 種である。

対象事業実施区域及びその周囲の植生は図 4-2-1-21 に示すとおりであり、春日井市の山地から丘陵地と春日井市及び名古屋市の平野部に大別される。春日井市の山地から丘陵地は対象事業実施区域北東側の一部であり、スギ・ヒノキ・サワラ植林、モチツツジーアカマツ群落及びゴルフ場の占める割合が高く、谷部に水田雑草群落、畑地雑草群落及び落葉果樹園が存在する。また、ため池と考えられる開放水域が点在する。それ以外の対象事業実施区域は春日井市及び名古屋市の平野部であり、市街地の中に水田雑草群落、畑地雑草群落、落葉果樹園等が散在する。

対象事業実施区域及びその周囲の天然記念物等の指定状況は、図 4-2-1-22 及び表 4-2-1-80 に示すとおりであり、国指定 2 件、県指定 2 件、市指定 4 件の天然記念物が存在する。

対象事業実施区域及びその周囲の巨樹・巨木林の存在状況は、図 4-2-1-22 及び表 4-2-1-81 に示すとおりであり、47 の巨樹・巨木林が存在する。

対象事業実施区域及びその周囲の特定植物群落の存在状況は、図 4-2-1-22 及び表 4-2-1-82 に示すとおりであり、5 つの特定植物群落が存在する。

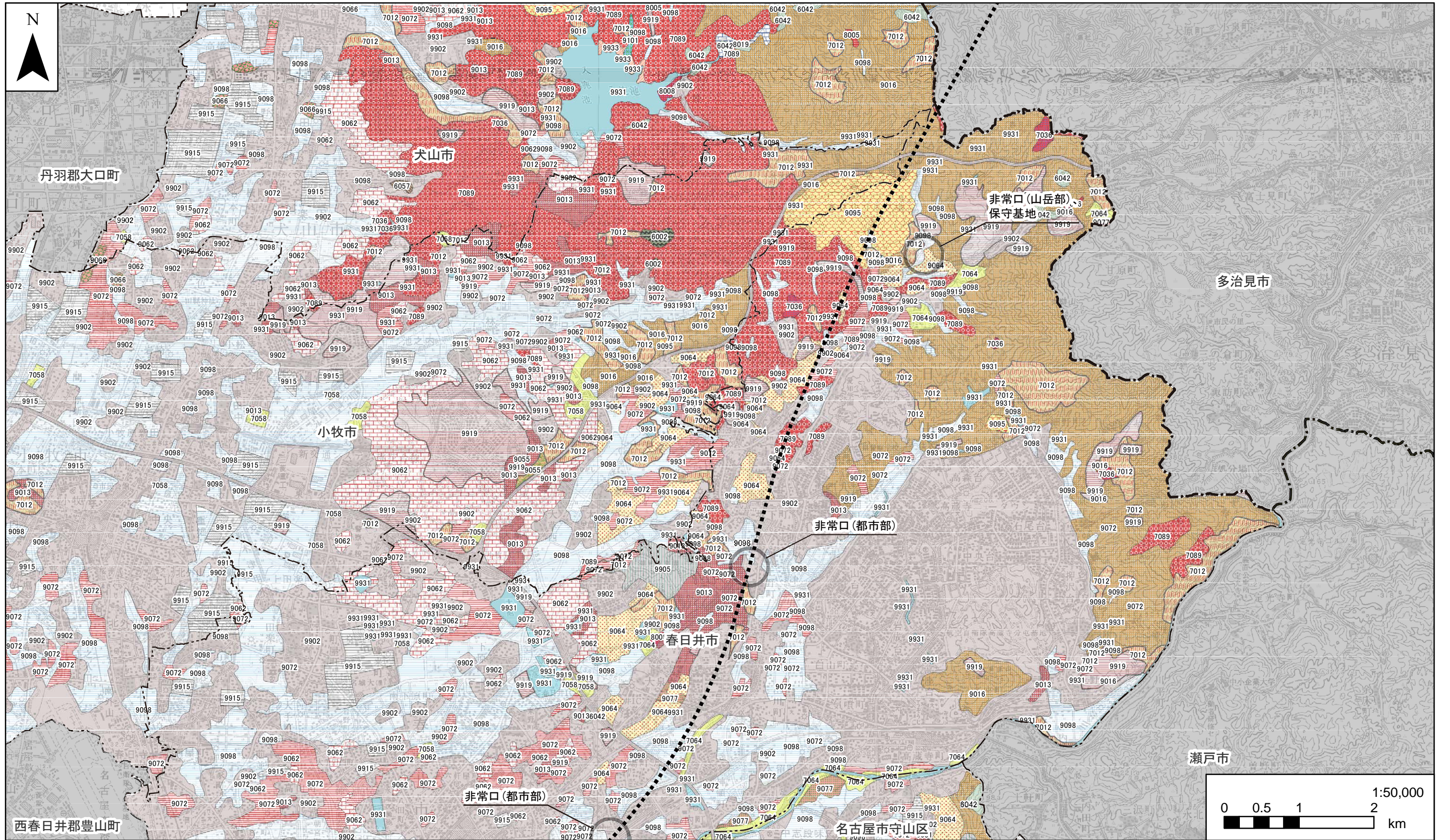
「レッドデータブックあいち 2009」、「レッドデータブックなごや 2004」及び「レッドデータブックなごや 2010-2004 年版補遺-」に掲載された種のうち生育が確認された種は、表 4-2-1-83 に示すとおりである。なお、「レッドデータブックあいち 2009」については、全メッシュのうち対象事業実施区域を含むメッシュの範囲、「レッドデータブックなごや」については、対象事業実施区域を含む周辺区の範囲を整理した。

確認された種は、愛知県の指定希少野生動植物種に指定されている4種、「環境省レッドリスト」掲載種の141種、「レッドデータブックあいち2009」掲載種の160種、「レッドデータブックなごや」掲載種の174種となっている。

**表 4-2-1-80 天然記念物（植物）の指定状況**

種別	名称	所在地	指定年月日
国指定	ヒトツバタゴ自生地	犬山市字西洞 41	大正 12 年 3 月 7 日
	名古屋城のカヤ	名古屋市中区本丸 1 番 (名古屋城内)	昭和 7 年 7 月 25 日
県指定	岩崎清流亭の藤	小牧市岩崎 148	昭和 36 年 3 月 30 日
	大草のマメナシ自生地	小牧市大字大草字太良 1 番の一部外	平成 23 年 8 月 26 日
市指定	小牧小学校校庭のクロマツ	小牧市小牧三丁目 1	平成 10 年 3 月 27 日
	貴船神社のアベマキ	小牧市大字上末 2993 番地	平成 22 年 3 月 29 日
	築水池のシデコブシ自生地	春日井市廻間町 1102-1	平成 15 年 3 月 24 日
	大乃伎神社のボダイジュ	名古屋市西区大野木 2-233	昭和 53 年 12 月 13 日

資料：「国指定文化財・県指定文化財」（平成25年6月現在、犬山市ホームページ）  
「指定文化財一覧」（平成25年6月現在、小牧市ホームページ）  
「市内の文化財」（平成25年6月現在、春日井市ホームページ）  
「指定文化財等目録一覧」（平成25年6月現在、名古屋市ホームページ）



凡例

- |  |  |  |  |   |   |
|--|--|--|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●●●● 計画路線 (トンネル部)</li> <li>— 県境</li> <li>- - - 市区町村境</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>6002 モミーシキム群集</li> <li>6039 ケヤキイロハモミジ群集</li> <li>6042 アラクシ群落</li> <li>6057 サカキコジイ群集</li> <li>7012 コナラクリ群落</li> <li>7036 伐跡群落</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>7058 ネザサラスキ群集</li> <li>7064 チガヤラスキ群落</li> <li>7089 モチツツジアカマツ群集</li> <li>8005 ヌマガヤオーダー</li> <li>8008 ヨシクラス</li> <li>8019 ツルヨシ群集</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>8023 オギ群集</li> <li>9013 クロマツ植林</li> <li>9016 スギ・ヒノキ・サワラ植林</li> <li>9055 竹林</li> <li>9062 常緑果樹園</li> <li>9064 落葉果樹園</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>9066 桑園</li> <li>9072 畑地雑草群落</li> <li>9077 ヒメムカシヨモギオオアレチノギク群落</li> <li>9095 ゴルフ場</li> <li>9098 水田雑草群落</li> <li>9101 休耕田雑草群落</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>9902 市街地</li> <li>9905 緑の多い住宅地</li> <li>9915 工場地帯</li> <li>9919 造成地</li> <li>9931 開放水域</li> <li>9933 自然裸地</li> </ul> |
|--|--|--|--|---|---|

資料: 「環境省自然環境保全基礎調査 自然環境情報GISデータ (第2~5回植生調査重ね合わせ植生)」 (環境省自然環境局生物多様性センター)

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

図4-2-1-21(1) 現存植生図

